

第18回 稼げるSE養成講座

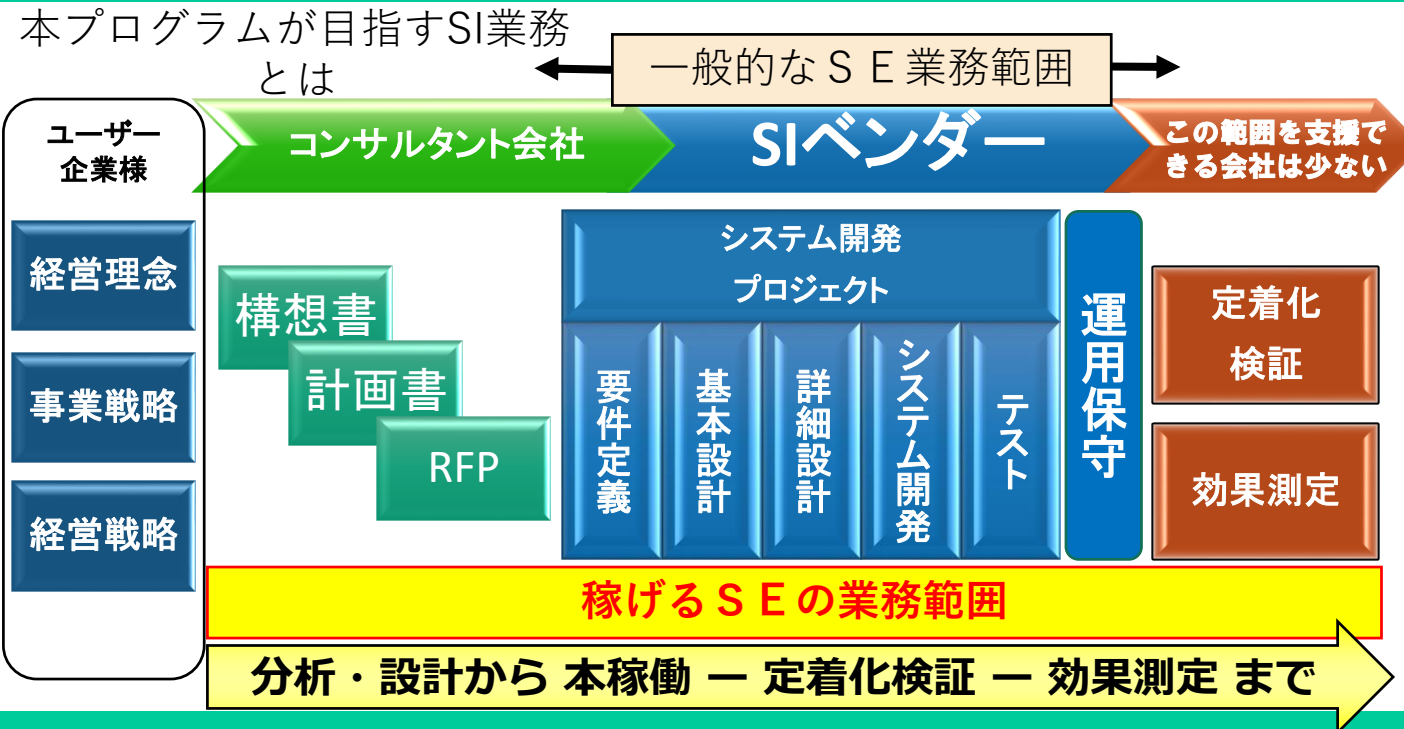
～儲けるための「正しいシステムづくり」～

モノづくり企業の「BPR担当SE向け」、「幹部社員向け」管理技術育成塾
ICT利活用で「在庫20%・人件費8%・材料費1%」削減。利益率5割UPを実現する方策を学ぶ！

受講対象者 (実務経験3年以上のSE、及び社長後継者・幹部社員。)

- ・「御用聞きSE」では、工数ばかり掛かって、顧客に利益をもたらさない感じている方。
- ・ICT技術でBPRを構築したが、顧客の利益の増改につながっていない感じている方。
- ・膨大な時間とお金を使ったが、「システム」から利益が出ていないと感じている方。
- ・大半の業務にICT活用されているが、在庫過剰、欠品発生が改善されず品質・生産性向上が無い企業。
- ・企業の正しい仕組づくりが分からず、トップ後継者・幹部社員が育たないと感じている企業

本プログラムが目指すSI業務
とは



日時・開催方法

日時 : 2019年9月2日～2019年12月16日 毎週月曜日 全12回 14:00～17:00 (別添のカリキュラムを御参照下さい。)

方法 : TV会議方式オンラインセミナー (定員5社 限定)

受講料 : 10万円(税別) / 人(「厚生労働省人材開発支援助成金」の対象講座。
(参考HP: [厚生労働省「人材開発支援助成金」](#) 不明点はお問合せください)

申込締切日 : 2019年8月1日(木曜日) 助成金申請のため締切日遵守ください(*申請手続きは、お手伝いします)

本講座の開講目的

弊社は「製造業の競争力強化」を社是としております。

製造業においてはERP(生産管理パッケージ)の導入が盛んです。しかし、導入企業の9割以上が「失敗」に終わり、投資金額と投入時間の無駄が続いています。

この解決には、ITベンダは「御用聞きSE」から「管理技術コンサルSE」が必要です。

モノづくり企業には、「業務毎の正しい考え・方法・手順」を取得した幹部社員が必要です。

本講座は、これに正しい「解」をご提供いたします。

塾長 八木 弘泰

【本講座の特徴】～標準化の実務演習が大人気～

「実際原価」は
ウソの原価です！



リアルタイムで質問も出来る
“双方向型”の「塾」です。
移動時間も不要！

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能
(Googleハンガアウトを使用)

1. 必要機材の無償貸出 2. 事前接続テスト の実施

演習で実感してみませんか？

以下の実務演習を通じて「管理技術」を習得できます

作業標準の設定

工程管理の基本である作業標準・標準時間の設定を作業分析ソフトを使用して特定品目の設定を演習します。

ロケーションの設定

保管管理が不備では在庫管理は出来ない。御社の倉庫を対象にロケーションを演習で設定します。

原価チャージの設定

「時間当たり単価」の設定が出来てない企業が多くなっています。御社のチャージ(賃率)設定の演習をします。

「受講者の声」

大手ITベンダ(大阪)取締役部長

2年目の新人と共に、『顧客に利益をもたらす生産管理の考え方』を学ぶため参加させて頂きました。

社員はシステム設計開発に従事していますが、顧客視点で業務の本質を改革する機会は少なく、非常に良い勉強になりました。

弊社は、関西地区に7か所の事業所を抱えますが、それぞれ管理技術を習得することが必須となっております。今後、弊社メンバーに本講座を受講させ、SE技術者としての真の実力アップを図りたいと思います。

中堅ITベンダ(東京) SE課長

先生の皆さんは「御用聞きSE」との指摘は当初は反感を持ちましたが、20年間の経験を顧みますと、ご指摘通りで反省しました。

確かに顧客様のご要望には間違いが多くあり管理技術でのご提案に確信が持てました。

大手ITベンダ(名古屋)SE課長

月曜日に受講し火曜日に「課題の提出」は、きつく、最初は脱落しそうになりました。

予習の重要さと受講時の姿勢のご指導を受け「正しい方法手順」で受講する事により

当日中の「課題提出」が容易に出来ました。

「間違ったことを懸命にやる」事の問題を実感出来、管理技術の正しい方法手順を顧客にご提案する事の使命を認識出来ました



ABC協会の推薦理由

我が国のモノづくり企業の生産性向上は喫緊の課題です。当講座は「研修内容が非常に充実しており、これを受講することが各ITベンダ及び製造業の皆様に大きな効果をもたらすと考えているので、これを推薦します。そのため副会長の細川も一部講師役を務めます。

FAX番号：0798-55-8779

必要情報ご記載後、上記FAX番号までご返信ください
または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です

セミナー参加希望の方は必要事項をご記入の上、FAX送信いただくか、メールにてお申し込みをお願いいたします。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。

申込締切日：8月1日(木) 受講申込者

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

【お客様の個人情報の利用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。
また、第三者にこれを開示することはありません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

特別講師

細川康秀

社)ABC協会副会長



講師

吉川正一



講師

長町 真由美



講師

八木 進也



塾長

八木 弘泰

中小企業診断士
特種一種情報処理技術者



現日本製鉄の作業長としてライン業務を経て情報システムの大規模開発、1988年以降、中小企業の一括請負システム開発会社、NSA(現IT)会長、NSSOL、日本情報システム・ユーザー協会副会長、現在ABC協会の副会長に從事。

コンピュータ黎明期から今日まで、鋭い洞察力・発想で日本のICT化のリーダーとして情報化に貢献されてきました。

厳しいご指導の中に、塾生を育成する愛情溢れるお話は多くのファンを生んでいます。

40年間、コンサル・SE経験を持ち、製造業を中心に数百家の業務再構築に從事、複雑系の仕組を「科学化」する才能の持ち主。「管理技術で利益の獲得」を担うASGUIDEツール開発の責任者(経産省システムアナリスト)

業務再構築指導は20年間に及び、指導実績も加工業から再生医療企業までの広範囲。厳格的な指導には定評がある。(ITTVC認定 ファシリテータ)

特許庁登録
「職務分析自動化」
発明者

建設資材業界での実務経験と管理技術の取得により、成型加工、消費財、装置業等々の業務再構築に從事。ネアカの指導が好評。

特許庁登録
「KJ法自動化」
発明者

50年間、数百家に及ぶ企業の業務再構築指導に從事し、又、企業診断業務は千社を超える実績を持つ。

IT技術+管理技術で利益率5割アップの「新たな利益」の実現を目的に業務再構築指導で活動している。「管理技術の復興・普及」をライフワークとし各地でのセミナーは年間百回に及ぶ。

セミナーに関するお問合わせ先

「塾」の運用企業



一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会

TEL: 03-6277-2055 e-mail: sem@abc-a.jp
<http://www.abc-a.jp/privacypolicy.html>



株式会社

管理技術ラボ

TEL: 0798-77-2667 FAX: 0798-55-8779
URL: <http://www.kan-lab.com> e-mail: asguide@kan-lab.com

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

回数	日程	講座名	教育内容
補講	8/26 (月) 14:00 ～ 17:00	1. 事前準備 (重要) 受講企業内で受講企業が受講者 に受講の目的を伝える 2. 「製造業の役割と仕組」	1. 今後の事業目的と教育訓練 (受講企業の方針) 一受講者の「目的意識」が教育効果を飛躍的に 上げます。御社の受講目的を明確に受講者にお 伝えください (受講企業毎に実施ください) 2. 受講者のレベルに応じたカリキュラムのカ ストマイズ。(方法は事前にご相談します)
1	9/2 (月) 14:00 ～ 17:00	キックオフ 特別講演 (細川先生登壇による) 管理技術による利益の獲得	1. 開講にあたって (心構、目的、受講姿勢) 2. 受講者の自己紹介 1. 顧客利益に貢献するSE像 1. 管理技術による利益の獲得
2	9/9 (月) 14:00 ～ 17:00	1. 管理技術の「仕組」から見た製 造業 2. 実在企業のビジネスフローによる製 造業の「業務知識」	前回テーマの続き 管理技術が以下に企業に「利益」をもたらすか、 それを担うSEの役割を認識頂きます。 受注から工場内の処理手続き・生産・出荷までの ビジネスプロセスを、産能大式業務フローを見なが ら製造業に実態を認識します。
3	9/30 (月) 14:00 ～ 17:00	在庫管理の業務知識と管理技術 及び事例	在庫管理の業務知識 1. 入出庫業務 2. 棚卸業務 3. ビジネスプロセス 在庫管理の管理技術のポイント 1. 在庫管理の目的と位置付け 2. 倉庫の定義 (原材料、工程、倉庫別) 3. 出庫認識 4. 出庫指図・実績・出来高入力と品目移動 5. 棚卸の目的・方法・差異処理
4	10/7 (月) 14:00 ～ 17:00	工程管理の業務知識と管理技術 及び事例	工程管理の業務知識 1. 作業指図 2. 作業割当 (ディスパッチング) 3. 作業報告と作業指導 4. 進捗管理と再計画 5. ビジネスプロセス 工程管理の管理技術のポイント 1. 工程管理の目的と位置付け 2. 製造計画の検証、指図書発行 3. 製造指図の方法 (一括指図、前工程完了時指図) 4. ディスパッチング 5. 実績把握の課題と作業指導 (PAC)

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

回数	日程	講座名	教育内容
5	10/21 (月) 14:00 ～ 17:00	購買外注管理の業務知識と 管理技術及び事例	購買外注管理の業務知識 1. 購買先・外注先とは 2. 注文書、納入指示とは、注文書と下請法 3. 受入業務と入庫業務 4. 分納、完納及び会計処理 5. ビジネスプロセス
			購買管理の管理技術のポイント 1. 購買管理の目的と位置付け 2. 納期管理と手配残棚卸 3. 注文書、納入指示 4. 受入、分納、仕訳、入庫処理 5. 事例
6	10/28 (月) 14:00 ～ 17:00	生産計画の業務知識と管理技術 及び事例	生産計画の管理技術のポイント 1. 生産計画の目的と位置付 2. 計画の絶対条件と累計リードタイム 3. 生産計画と日程計画 (大中小) 4. 立案源泉と検証方式
		資材計画の業務知識と管理技術 及び事例	資材計画の管理技術のポイント 1. 資材計画の目的と位置付 2. 独立需要と従属需要 3. 資材計画の種類と論理 4. 資材特性と資材計画の種類 5. ビジネスプロセス
7	11/11 (月) 14:00 ～ 17:00	BOM (部品表) の業務知識と 管理技術及び事例	部品表管理の管理技術のポイント 1. 部品表管理の目的と位置付け 2. ストラクチャ部品表 3. 品目と構成 4. 原単位、仮想部番、制御断面、結合部品表 5. 仕様展開 6. ビジネスプロセス
8	11/18 (月) 14:00 ～ 17:00	受注出荷管理の業務知識と 管理技術及び事例	受注出荷の管理技術ポイント 1. 受注出荷管理の目的と位置付け 2. 受注情報の要件 3. 出荷情報の要件 4. 緊急出荷、納期回答、出荷指図 6. ビジネスプロセス
		ICTを利用した生産管理の 標準事例	ICTの事例を学習ライブラリを使用して、受講者各自 で実感して頂きます。

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

回数	日程	講座名	教育内容
9	11/25 (月) 14:00 ～ 17:00	品質管理の業務知識と 管理技術及び事例	品質管理の管理技術のポイント 1. 品質管理の目的と位置付け 2. 試験検査の意義と種類 3. 試験検査の日程化 4. 採取・試験検査、先行サンプル 5. 試験成績書・出荷承認・ロット廻及 6. ビジネスプロセス
		財務会計の手ほどき	1. 苦手な財務会計の手ほどき 2. 財務会計と販売管理 3. 財務会計と生産管理
10	12/2 (月) 14:00 ～ 17:00	原価管理の業務知識と 管理技術及び事例	原価管理の管理技術のポイント 1. 原価管理の目的と位置付け（目的と財務会計） 2. 定義（定義・材料・労務・経費） 3. 標準原価計算による原価の仕組み
			原価管理の管理技術のポイント 4. 許容原価とは 5. 原価計算と生産管理（何が問題か？）
11	12/9 (月) 14:00 ～ 17:00	学習ライブラリと「まとめ」	1. 生産管理の事例（ICT機能とマンフロー） の理解。ICTと人の役割をイメージする。 （生産計画の立案、MRP他を演習） 2. 管理技術のまとめ
12	12/16 (月) 14:00 ～ 17:00	1. 分析・設計・定着化・効果 測定技術の概要 2. 特別講演（細川先生登壇） 3. 管理技術塾の次STEP	1. ASGUIDEの現状分析技術の概要 1) 問題点の棚卸「現状分析の手法」 2) ルーティンワークの設計「基本設計の手法」 3) 例外処理と人の行動設計「詳細設計の手法」 4) ノウハウの科学化「データ構築の手法」 5) 設計通りに運用しない「定着化の手法」 6) 経常利益5割UP「効果の測定手法」 7) コンサルタントが持つべき「姿勢・心」 2. 継続的な自己啓発の考え方 3. 管理技術塾の次ステップについて